



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年10月10日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東
 コード番号 3560 URL <https://www.hobonichi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼CCO (氏名) 糸井重里
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 鈴木基男 (TEL) 03-5422-3804
 定時株主総会開催予定日 2025年11月29日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
 有価証券報告書提出予定日 2025年11月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の業績(2024年9月1日~2025年8月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	8,677	15.2	616	12.7	651	19.7	448	12.3
2024年8月期	7,534	10.5	547	△7.2	543	△7.0	399	△3.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	193.15	193.14	9.5	9.7	7.1
2024年8月期	172.05	171.99	9.2	8.8	7.3

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	6,918	4,893	70.7	2,108.05
2024年8月期	6,492	4,523	69.7	1,949.65

(参考) 自己資本 2025年8月期 4,893百万円 2024年8月期 4,523百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	158	△485	△105	755
2024年8月期	401	△467	△106	1,194

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00	104	26.2	2.4
2025年8月期	—	0.00	—	90.00	90.00	208	46.6	4.4
2026年8月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00		43.5	

3. 2026年8月期の業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	9.5	680	10.2	680	4.4	480	7.1	206.79

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年8月期	2,321,800 株	2024年8月期	2,320,600 株
2025年8月期	430 株	2024年8月期	430 株
2025年8月期	2,321,236 株	2024年8月期	2,320,185 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確実要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2025年10月10日（金）17時以降、当社ウェブサイト<https://www.hobonichi.co.jp/>に掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 財務諸表及び主な注記	7
(1) 貸借対照表	7
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(収益認識関係)	13
(セグメント情報等)	14
(持分法損益等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、「夢に手足を。」つけて、歩き出させる会社であることを目指し、「やさしく、つよく、おもしろく。」を行動指針として、新しい価値を生み出し、人びとが集う「場」をつくり、「いい時間」を提供するコンテンツを企画、編集、制作、販売しています。コンテンツとはクリエイティブの集積であり、読みもの、動画、商品、イベントなど、すべてがコンテンツであるととらえています。具体的には、1998年の創刊から27年間、毎日更新をしているウェブサイト「ほぼ日」(旧「ほぼ日刊イトイ新聞」。以下「ほぼ日」といいます。)、有名無名を問わずあらゆるジャンルの人たちの話を聞くことができる動画サービス「ほぼ日の学校」、さまざまな体験を提供する場として渋谷PARCOで展開する「ほぼ日曜日」、ギャラリーショップの「TOBICHI」、犬と猫と人間をつなぐSNSアプリ「ドコノコ」、さまざまなアーティストやブランドとつくるお買いものフェス「生活のたのしみ展」といった「場」をつくり、「ほぼ日手帳」をはじめとした生活のたのしみを提供する商品や動画、読みものなどのコンテンツを国内外へお届けしています。

当事業年度における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
売上高	7,534,785千円	8,677,878千円	1,143,093千円	15.2%
営業利益	547,476千円	616,897千円	69,421千円	12.7%
経常利益	543,812千円	651,043千円	107,231千円	19.7%
当期純利益	399,197千円	448,354千円	49,156千円	12.3%

当事業年度における当社を取り巻く事業環境として、EC市場規模の継続的な拡大があげられます。経済産業省の調査によると、2024年の日本国内のBtoC-EC市場規模は、26.1兆円(前年比5.1%増)と拡大し、内訳として物販系分野では前年比3.70%増と伸長しています。また、日本・米国・中国の3か国間における越境ECの市場規模は、いずれの国の間でも昨年に引き続き増加しています。

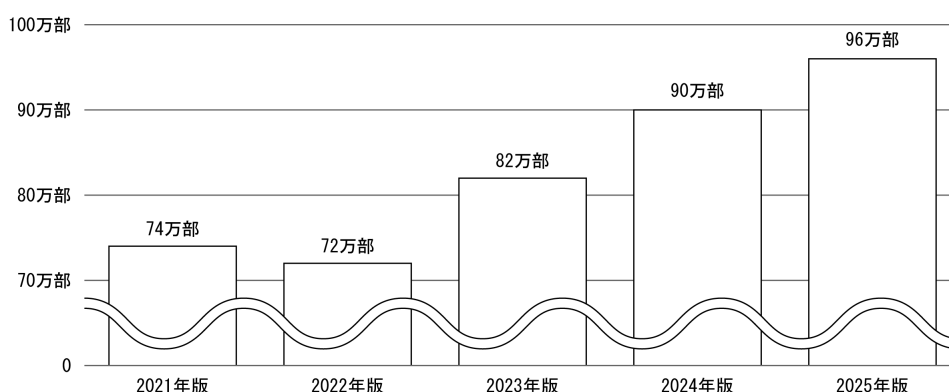
当社は当事業年度において、主力商品の『ほぼ日手帳2025』を例年通り2024年9月1日より、4月はじまり版の『ほぼ日手帳2025 spring』を2025年2月1日より販売開始しました。

「ほぼ日手帳」においては幅広いユーザーの手にとってもらえるような新たなブランド、IPやアーティストとのコラボレーションを実施してきましたが、2025年版では、2024年版に引き続き『ONE PIECE magazine』やイラストレーターの北岸由美さん、2026年版では新たに「たまごっち」や『ムーミン』をはじめとした、多種多様なコラボレーションが実現しています。また、カバーや下敷き、シールなど周辺文具の拡充を進め、2025年版は新作アイテムが手帳と文具あわせて350以上となる過去最大のラインナップとなりました。

販路については、自社ECサイト「ほぼ日オンラインストア」(旧「ほぼ日ストア」。以下「ほぼ日オンラインストア」といいます。)のみならず、Amazon(国内・海外)や楽天市場、天猫国際など外部ECサイトでの取扱を拡充するほか、国内外の取組先への卸販売を通して、より多くのユーザーが普段利用する場所で「ほぼ日手帳」を購入できる環境を構築しています。また、ニューヨークやロンドンなどの海外主要都市にて現地ユーザーとの交流イベント「ほぼ日手帳ミーティングキャラバン」を開催し、販売拡大が続く海外販路におけるプロモーションを強化しました。このような取り組みに加え、SNS上ではユーザー生成コンテンツ(UGC)が海外で特に増加しており、ユーザーの広がりを見せています。

結果として、「ほぼ日手帳」の国内売上高は2,777,166千円(前期比17.0%増)、海外売上高は3,072,835千円(前期比19.6%増)と国内外ともに伸長し、国内外合計で5,850,001千円(前期比18.4%増)となりました。海外売上高の構成比率は52.5%(前期比0.5pt増)と増加しました。当事業年度の2025年版の販売部数は、過去最高の販売部数となった2024年版の90万部を超えて96万部となっています。

『ほぼ日手帳』販売部数推移



「ほぼ日手帳」以外の商品については、売上高は2,282,585千円(前期比9.9%増)となりました。特に、コンテンツのフェスティバル「生活のたのしみ展」に加え、「ほぼ日オンラインストア」で「自己買い物肯定感の向上」がテーマの「Hello! Good Buy! (ハロー・グッバイ!)」セールを実施したことにより、好調に推移しました。さらに「ほぼ日曜日」では、過去最高となる約20,000人のお客さまにご来場いただいたかくれんぼ絵本「ミッケ!」を体験できる展覧会、全国から70種以上のご当地アイスを取り寄せた「冬なのご当地アイスまつり」、渋谷PARCO 6階での期間限定ポップアップショップ「MOTHERのおみせ。」と同時開催した「MOTHERのかたち。」などが大盛況となりました。

これらの結果、売上高は8,677,878千円(前期比15.2%増)となりました。

売上原価については、「ほぼ日手帳」の原価率は37.1%(前期比0.7pt減)と改善している一方、「ほぼ日手帳」以外の原価率は55.0%(前期比1.2pt増)と上昇し、全体の売上原価率は43.0%(前期比0.3pt減)となりました。※1

販売費及び一般管理費については、「生活のたのしみ展」による一時的な費用発生のほか、海外直営販路での売上増加による販売費用上昇などにより増加しました。また、コンテンツを生み出す基盤づくりの強化を目的に行った「ほぼ日の『いわゆる管理部門の』大開拓採用」により人員が増加し、人件費が増加しました。

その結果、当事業年度の営業利益は616,897千円(前期比12.7%増)、経常利益は651,043千円(前期比19.7%増)、当期純利益は448,354千円(前期比12.3%増)となりました。

その他の事業活動として、ウェブサイト「ほぼ日」では、「老いと死」特集のコンテンツとして公開した元ほぼ日乗組員へのインタビュー「笠井さんが老人ホームに入った。」は大きな反響を呼びました。加えて、糸井重里が自身の手がけた広告コピーについて語る「まずは状況から話そうか。糸井重里のコピー10」、私立灘高等学校の生徒からの依頼メールにより実現した「僕たちは、たいしたことなくてかげがえない希望。」などのコンテンツを、ウェブサイト「ほぼ日」では読みものコンテンツとして、「ほぼ日の学校」では動画コンテンツとして展開しました。

また、「TOBICHI」では、さまざまなイベントの開催のみならず、「ほぼ日手帳」をはじめとする商品を実際に手に取れる場所として来店者数と売上金額が増加しました。このように、当社は運営する「場」において、生活のたのしみとなるような「いい時間」を過ごしていただけるよう、コンテンツを作り、編集し届けています。業績はこうしたすべての活動の結果だと考えています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

※1 当事業年度における「ほぼ日手帳」の売上高・売上原価・売上総利益は次の表の通りです。

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	4,942,077千円	100.0%	5,850,001千円	100.0%	907,924千円	18.4%
売上原価	1,869,697千円	37.8%	2,172,066千円	37.1%	302,369千円	16.2%
売上総利益	3,072,379千円	62.2%	3,677,935千円	62.9%	605,555千円	19.7%

当事業年度においては、「ほぼ日手帳」の売上総利益が前期比19.7%増と成長しました。また、売上原価率においては、実績は37.1%(前期比0.7pt減)となり、「ほぼ日手帳」の売上総利益率は62.9%(前期比0.7pt増)と微増しています。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)	前事業年度末比増減
資産合計	6,492,759千円	6,918,112千円	425,352千円
負債合計	1,969,229千円	2,024,547千円	55,318千円
純資産合計	4,523,530千円	4,893,564千円	370,033千円

(資産の部)

流動資産は、4,889,692千円と前事業年度末に比べて189,275千円の増加となりました。これは主に『ほぼ日手帳2026』関連商品の入荷による商品の増加380,171千円、海外販路への一部出荷に伴う売掛金の増加255,024千円、現金及び預金の減少439,418千円によるものです。

有形固定資産は、254,668千円と前事業年度末に比べて11,164千円の減少となりました。これは主に減価償却による減少48,796千円、工具、器具及び備品の取得による増加22,070千円、建設仮勘定の増加13,593千円によるものです。

無形固定資産は、871,432千円と前事業年度末に比べて183,807千円の増加となりました。これは主に「ほぼ日手帳アプリ」開発などによるソフトウェア仮勘定の増加371,667千円と減価償却による減少177,054千円によるものです。

投資その他の資産は、902,318千円と前事業年度末に比べて63,433千円の増加となりました。これは主に「ほぼ日の学校」の授業制作による長期前払費用の増加95,267千円、償却による減少68,746千円、投資有価証券の時価評価額の増加39,360千円、繰延税金資産の減少14,102千円によるものです。

(負債の部)

流動負債は、1,799,765千円と前事業年度末に比べて58,500千円の増加となりました。これは主に未払金の増加38,418千円、未払法人税等の増加91,524千円、買掛金の減少14,577千円、未払消費税等の減少67,283千円によるものです。

固定負債は、224,782千円と前事業年度末に比べて3,181千円の減少となりました。これは主にその他に含まれる長期未払費用の減少12,779千円、長期リース債務の増加5,487千円、退職給付引当金の増加4,111千円によるものです。

(純資産の部)

純資産の部は、4,893,564千円と前事業年度末に比べて370,033千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加343,946千円と、その他有価証券評価差額金の増加24,706千円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物は755,176千円と前年同期末と比べ439,418千円の減少となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

	前事業年度 (2024年8月期)	当事業年度 (2025年8月期)	対前年同期 (増減額)
営業活動による キャッシュ・フロー	401,591千円	158,468千円	△243,122千円
投資活動による キャッシュ・フロー	△467,331千円	△485,578千円	△18,246千円
財務活動による キャッシュ・フロー	△106,447千円	△105,049千円	1,397千円

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、158,468千円の純収入（前年同期は401,591千円の純収入）となりました。これは主に税引前当期純利益651,043千円、減価償却費の計上295,665千円による増加要因と、仕入の早期化や販売規模拡大に伴う棚卸資産の増加342,161千円、卸先への販売数量増加に伴う売上債権の増加255,024千円、未払消費税等の減少65,922千円、法人税等の支払による減少115,403千円による減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、485,578千円の純支出（前年同期は467,331千円の純支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得30,489千円、無形固定資産の取得346,843千円、長期前払費用の取得96,603千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、105,049千円の純支出（前年同期は106,447千円の純支出）となりました。これは主に配当金の支払104,177千円によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年8月期	2025年8月期
自己資本比率	69.7%	70.7%
時価ベースの自己資本比率	117.92%	104.69%
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債（リース債務を除く）を対象としています。

(4) 今後の見通し

次期の経営成績の見通しは、次の表のとおりです。

	2025年8月期 実績	2026年8月期 見通し	対前期増減率
売上高	8,677百万円	9,500百万円	9.5%
営業利益	616百万円	680百万円	10.2%
経常利益	651百万円	680百万円	4.4%
当期純利益	448百万円	480百万円	7.1%

(業績見込)

第48期(2026年8月期)は、「ほぼ日手帳」の国内外での継続的な成長を見込んでいます。大型IPとのコラボによる顧客層の拡大や、文具など周辺商材の仕入・開発の強化によるアップセルの促進に加えて、InstagramやYouTubeなど外部メディアでのコンテンツ発信の強化およびユーザーによる投稿(UGC)の促進によるブランド認知向上を図ります。また、国内外の卸先との連携強化や、サプライチェーン管理の強化による生産・発注・納品の精度向上、成長市場の北米エリアにおける販促活動の強化を通して、売上の最大化に努めます。結果、『ほぼ日手帳 2026』の販売部数は大台の100万部を突破し、売上高とともに過去最高を見込んでいます。

また、2024年7月にリリースした統合IDサービス「ほぼ日ID」の登録者数は2025年8月末時点で42万人を超えました。当社が提供するサービスやコンテンツを利用しやすくなる基盤として展開・機能改善をすすめることにより、ほぼ日オンラインストアや2025年10月リリース予定の「ほぼ日手帳アプリ」をはじめとする、各サービスの併用を促進します。

「ほぼ日手帳」以外の商品からなる「ほぼ日商品」では、新ブランド開発に加え、既存プロジェクトを継続的に推進します。

その結果、売上高は過去最高となる9,500百万円(前期比9.5%増)を見込んでいます。

売上高の増加に加え、「ほぼ日手帳」を中心としたサプライチェーンを強化し、販売・物流関連コストの低減を図るとともに、商品の生産管理の精度を高め、売上原価率を上昇させる要因となる廃棄・商品評価損の低減に努めてまいります。各段階利益は、米国関税の影響170百万円を含みながらも、過去最高益を予想しています。

(次期の配当予想)

当社は、長期に亘る安定的な経営基盤の確保をめざし、業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施することを基本方針としています。具体的な配当は、キャッシュ・フローの状況等を基準に決定します。

内部留保につきましては、①魅力あるコンテンツを継続して提供するための必要資金として、また②新規事業、③経営の効率化に向けた情報システムへの投資等に活用し、経営基盤の安定と拡大に努めております。

継続的な安定配当の基本方針のもと、足元の業績推移や財政状況等を総合的に勘案した結果、次期の配当予想につきましては、期末配当を1株当たり90円と予定しています。

(想定されるリスク)

不安定な国際情勢に伴う物価高や外国為替相場の変動、税制の変動などの経済要因により、仕入原価や販売・物流関連コストが増加し、業績へ影響を与える可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者は国内に多く、海外からの資金調達の実現性がないこと、財務諸表は会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることなどを総合的に勘案し、日本基準を適用する方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,194,594	755,176
売掛金	1,152,436	1,407,461
商品	2,167,096	2,547,267
仕掛品	87,175	49,166
貯蔵品	9,877	20,741
前渡金	15,490	15,858
前払費用	63,540	88,869
その他	10,605	6,289
貸倒引当金	△401	△1,139
流動資産合計	4,700,416	4,889,692
固定資産		
有形固定資産		
建物	348,056	351,706
構築物	7,953	7,953
車両運搬具	3,814	3,814
工具、器具及び備品	185,261	200,908
建設仮勘定	-	13,593
減価償却累計額	△279,252	△323,308
有形固定資産合計	265,833	254,668
無形固定資産		
商標権	5,837	4,769
ソフトウェア	369,935	551,516
ソフトウェア仮勘定	311,371	310,276
その他	480	4,870
無形固定資産合計	687,625	871,432
投資その他の資産		
投資有価証券	362,244	401,605
長期前払費用	206,206	232,728
繰延税金資産	121,939	107,836
その他	151,923	160,147
貸倒引当金	△3,429	-
投資その他の資産合計	838,884	902,318
固定資産合計	1,792,343	2,028,419
資産合計	6,492,759	6,918,112

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,201,839	1,187,262
未払金	231,187	269,605
未払費用	33,702	31,899
未払法人税等	53,540	145,064
未払消費税等	74,602	7,319
リース債務	1,982	2,590
前受金	-	1,578
預り金	25,084	25,288
賞与引当金	119,150	129,139
その他	176	18
流動負債合計	1,741,265	1,799,765
固定負債		
長期リース債務	886	6,373
退職給付引当金	177,389	181,500
資産除去債務	3,975	3,975
その他	45,713	32,933
固定負債合計	227,963	224,782
負債合計	1,969,229	2,024,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,432	351,122
資本剰余金		
資本準備金	340,432	341,122
資本剰余金合計	340,432	341,122
利益剰余金		
利益準備金	2,500	2,500
その他利益剰余金		
別途積立金	500,000	500,000
繰越利益剰余金	3,195,250	3,539,197
利益剰余金合計	3,697,750	4,041,697
自己株式	△1,975	△1,975
株主資本合計	4,386,639	4,731,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136,891	161,598
評価・換算差額等合計	136,891	161,598
純資産合計	4,523,530	4,893,564
負債純資産合計	6,492,759	6,918,112

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	7,534,785	8,677,878
売上原価		
商品期首棚卸高	2,157,127	2,394,677
当期商品仕入高	3,500,721	4,140,604
合計	5,657,849	6,535,281
商品他勘定振替高	27,232	32,828
商品期末棚卸高	2,394,677	2,755,601
商品評価損	28,775	△18,938
商品売上原価	3,264,715	3,727,913
売上総利益	4,270,069	4,949,964
販売費及び一般管理費	3,722,593	4,333,066
営業利益	547,476	616,897
営業外収益		
受取利息	251	3,096
償却債権取立益	91	60
受取補償金	1,085	36,668
その他	1,659	1,829
営業外収益合計	3,087	41,655
営業外費用		
固定資産除売却損	274	1,733
為替差損	5,132	5,541
その他	1,344	234
営業外費用合計	6,751	7,509
経常利益	543,812	651,043
税引前当期純利益	543,812	651,043
法人税、住民税及び事業税	143,884	202,523
法人税等調整額	729	165
法人税等合計	144,614	202,689
当期純利益	399,197	448,354

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合 計			
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金				
				別途積立金						
当期首残高	350,263	340,263	340,263	2,500	500,000	2,900,454	3,402,954	△1,708	4,091,773	
当期変動額										
新株の発行	168	168	168						337	
剰余金の配当						△104,402	△104,402		△104,402	
当期純利益						399,197	399,197		399,197	
自己株式の取得								△266	△266	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	168	168	168	-	-	294,795	294,795	△266	294,865	
当期末残高	350,432	340,432	340,432	2,500	500,000	3,195,250	3,697,750	△1,975	4,386,639	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	108,526	108,526	4,200,299
当期変動額			
新株の発行			337
剰余金の配当			△104,402
当期純利益			399,197
自己株式の取得			△266
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	28,364	28,364	28,364
当期変動額合計	28,364	28,364	323,230
当期末残高	136,891	136,891	4,523,530

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	350,432	340,432	340,432	2,500	500,000	3,195,250	3,697,750	△1,975	4,386,639
当期変動額									
新株の発行	690	690	690						1,380
剰余金の配当						△104,407	△104,407		△104,407
当期純利益						448,354	448,354		448,354
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	690	690	690	-	-	343,946	343,946	-	345,327
当期末残高	351,122	341,122	341,122	2,500	500,000	3,539,197	4,041,697	△1,975	4,731,966

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	136,891	136,891	4,523,530
当期変動額			
新株の発行			1,380
剰余金の配当			△104,407
当期純利益			448,354
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	24,706	24,706	24,706
当期変動額合計	24,706	24,706	370,033
当期末残高	161,598	161,598	4,893,564

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	543,812	651,043
減価償却費	199,570	295,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,383	△2,691
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,831	9,988
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,509	4,111
受取利息及び受取配当金	△251	△3,096
受取補償金	△1,085	△36,668
為替差損益(△は益)	6,511	7,247
売上債権の増減額(△は増加)	△306,450	△255,024
棚卸資産の増減額(△は増加)	△249,941	△342,161
貯蔵品の増減額(△は増加)	△2,075	△10,864
その他の資産の増減額(△は増加)	15,445	△17,951
仕入債務の増減額(△は減少)	256,357	△14,577
未払又は未収消費税等の増減額	95,838	△65,922
その他の負債の増減額(△は減少)	82,417	13,995
その他	△372	1,015
小計	659,838	234,107
利息及び配当金の受取額	251	3,096
補償金の受取額	1,085	36,668
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△259,584	△115,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,591	158,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,231	△30,489
無形固定資産の取得による支出	△351,871	△346,843
差入保証金の差入による支出	△13	△11,641
差入保証金の回収による収入	21	-
長期前払費用の取得による支出	△86,236	△96,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467,331	△485,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	337	1,380
自己株式の取得による支出	△266	-
配当金の支払額	△104,167	△104,177
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,350	△2,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,447	△105,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,529	△7,258
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△178,717	△439,418
現金及び現金同等物の期首残高	1,373,312	1,194,594
現金及び現金同等物の期末残高	1,194,594	755,176

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書関係)

前事業年度において、営業外費用の「その他」に含めていた「固定資産除売却損」は、金額的重要性が増したことから、当事業年度より営業外費用の「固定資産除売却損」として区分掲記しています。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前事業年度の損益計算書において、営業外費用の「その他」に表示していた1,619千円は、「固定資産除売却損」274千円と、「その他」1,344千円として組み替えています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(商品種類別)

	金額(千円)
手帳	4,942,077
その他商品	2,076,630
その他売上	516,077
顧客との契約から生じる収益	7,534,785

(地域別)

	金額(千円)
日本	4,623,067
北米・中米	1,796,218
ヨーロッパ	426,342
中華圏	369,590
その他海外	319,566
顧客との契約から生じる収益	7,534,785

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(商品種類別)

	金額(千円)
手帳	5,850,001
その他商品	2,282,585
その他売上	545,291
顧客との契約から生じる収益	8,677,878

(地域別)

	金額(千円)
日本	5,193,131
北米・中米	2,287,483
ヨーロッパ	553,589
中華圏	302,062
その他海外	341,611
顧客との契約から生じる収益	8,677,878

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社はウェブメディアと物販を複合的に行う単一のセグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しています。

【関連情報】

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	中国	その他	合計
4,623,067	1,651,878	349,260	910,579	7,534,785

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	中国	その他	合計
5,193,131	2,088,103	286,801	1,109,841	8,677,878

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 関連会社に関する事項

当社が有している全ての関連会社は、利益基準及び剰余金基準から見て重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しています。

2. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有していません。

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 関連会社に関する事項

当社が有している全ての関連会社は、利益基準及び剰余金基準から見て重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しています。

2. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有していません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	1,949円65銭	2,108円05銭
1株当たり当期純利益	172円05銭	193円15銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	171円99銭	193円14銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	399,197	448,354
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	399,197	448,354
普通株式の期中平均株式数(株)	2,320,185	2,321,236
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	810	151
(うち新株予約権)(株)	810	151
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,523,530	4,893,564
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,523,530	4,893,564
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,320,170	2,321,370

(重要な後発事象)

該当事項はありません。